

大笑いと幽霊の道

付き添ってくれたのはお笑い芸人のリョウキ。

大爆笑を誘う彼。大爆笑しながら彼の顔を見ると、その顔に更にふんぞり返って笑い転げてしまう。

彼は劇場にて観客にもバカ受け。超売れっ子でバラエティーにも引っ張りだこだ。

彼が隣で肩を並べて歩いてくれている。

わたしはスーパーマンだ。

不気味な遊具のある人気のない公園のコンクリート階段を上ると、
よくよく見ても廃校だか古びた民営住宅だか分からない建物があり、
その向かいにはまだかろうじて営業していそうな工場がある。

その間の白い道路はやけに不気味であった。

ルルー—ルル————

そう呟きながらわたしはゆっくりと歩を進めた。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました。